

山形に暮らすアーティストとクラフトマンによる作品展示会



ガラス:グラススタジオ旭

伊藤 直仁

1964年 静岡県浜松市生まれ、浜松工業高校デザイン科卒業。(株)佐々木クリスタル硝子を経て、1995年 尾花沢グラススタジオ旭主宰。山寺「風雅の国」硝子展、米沢大沼個展、旭川・船橋西武百貨店、東京・カラニス「東北硝子作家展」などの展示会に多数参加。



陶芸:かねき陶房

菊地 穂

1968年川崎市生まれ、沖縄県立芸術大学卒。1992年大嶺實清氏師事。2006年『かねき陶房』として独立し、2017年東根市“大けやき”の側に工房移転。工芸的*芸術的視座から日々の生活に合う「使い良いモノ」「美しいモノ」「地域の香りのするモノ」をかたち作りの基本として制作に取り組んでいます。



花:Atelier momo

木村 聰美

茨城県出身、東北芸術工科大学日本画コース卒業。12歳から生け花を習う。美大進学を目指し浪人していた2年目の春に、ニュージーランドに短期花留学しフラワーアレンジメント、ブライダルコーディネートの基礎を学ぶ。大学卒業後、山形市内の生花店に勤務。退社後、AtelierMomoを主宰。



草木染織

木村 美紀

全国製織協会会員

福祉事業所らっふる(寒河江市)支援員

自宅裏の段々畑で野菜仕事をし、草花を育てながら、障がいのある方々と一緒に日々ものつくりを続けています。



服作り人

久我 友紀

山形市中心商店街にあるオーダー店アンドー洋装店3代目。フォーマルウェア、舞台衣装等、幅広く服作りをしている。1995年より東北中心にオーガニックコットンやシルクのピュアで体に優しい服の作品展を毎年開催。オリジナルブランド &O(アンドオー)。



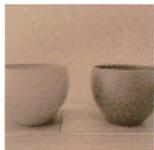
陶芸:舟形焼 薫風窯

金 寛美

1977新庄市生まれ舟形町在住

太古の昔から人は粘土をこね、形作り焼いてきた。

わたしは粘土が好きなんだと思う。これは恋かしら?



漆器

彩木工房まるもん屋

山形市に工房を構え、木地を挽き、漆で仕上げるまでを夫婦で一環して仕上げています。手に馴染むマットな仕上りの漆の器や、自然な木の色を活かしたアクセサリーや小物を作っています。日々の暮らしに彩りを与える存在となれば幸いです。



キャンドル:ATMiC

鈴木 裕子

2014年より、独学にてキャンドル作りを学びました。

型を使わず、手捏ねの技法で一つ一つ作っております。

2019年『JAPAN CANDLE ARTIST AWARD』ファイナリスト

2021年『JAPAN CANDLE ARTIST AWARD』手ごね部門グランプリ受賞



編み物

母瀬 真

2001年、pitti filatiでの作品展示を皮切りに、2002年イタリアフィレンツェにてニットブランドを創業。イタリアの職人哲学と創造性を、地元山形、日本のものづくりの精神に反映させ、独自のクリエイションで手編みブランドを展開。これまでにない新しいアプローチで手編みの未来を切り開く新進気鋭のニットクリエイター。



木工:エヌ・ワークス

芦野 直之

無垢の木と手仕事にこだわり、小さなスプーンから家具・木造住宅まで手掛けるウッドクリエーター。木の工房エヌ・ワークスももうすぐ30年。後世に残せるモノづくりを目指します。